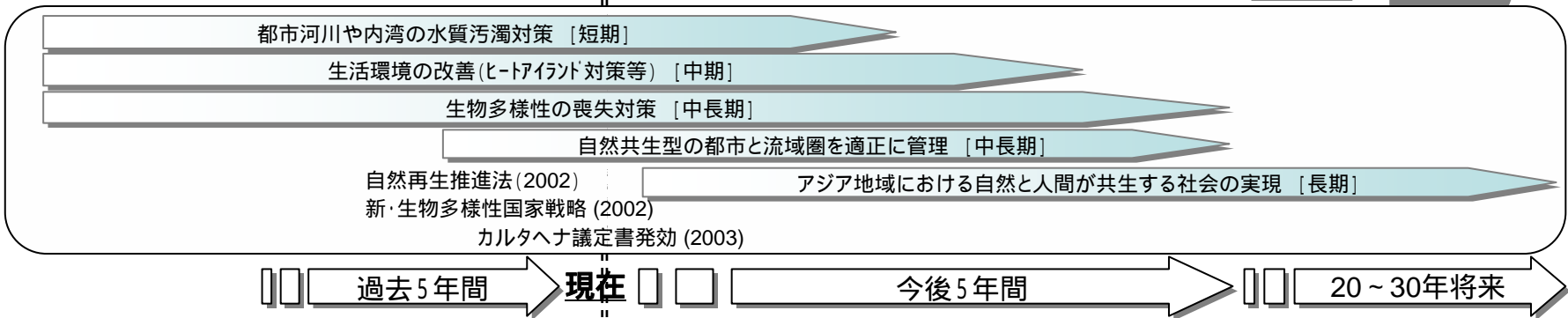


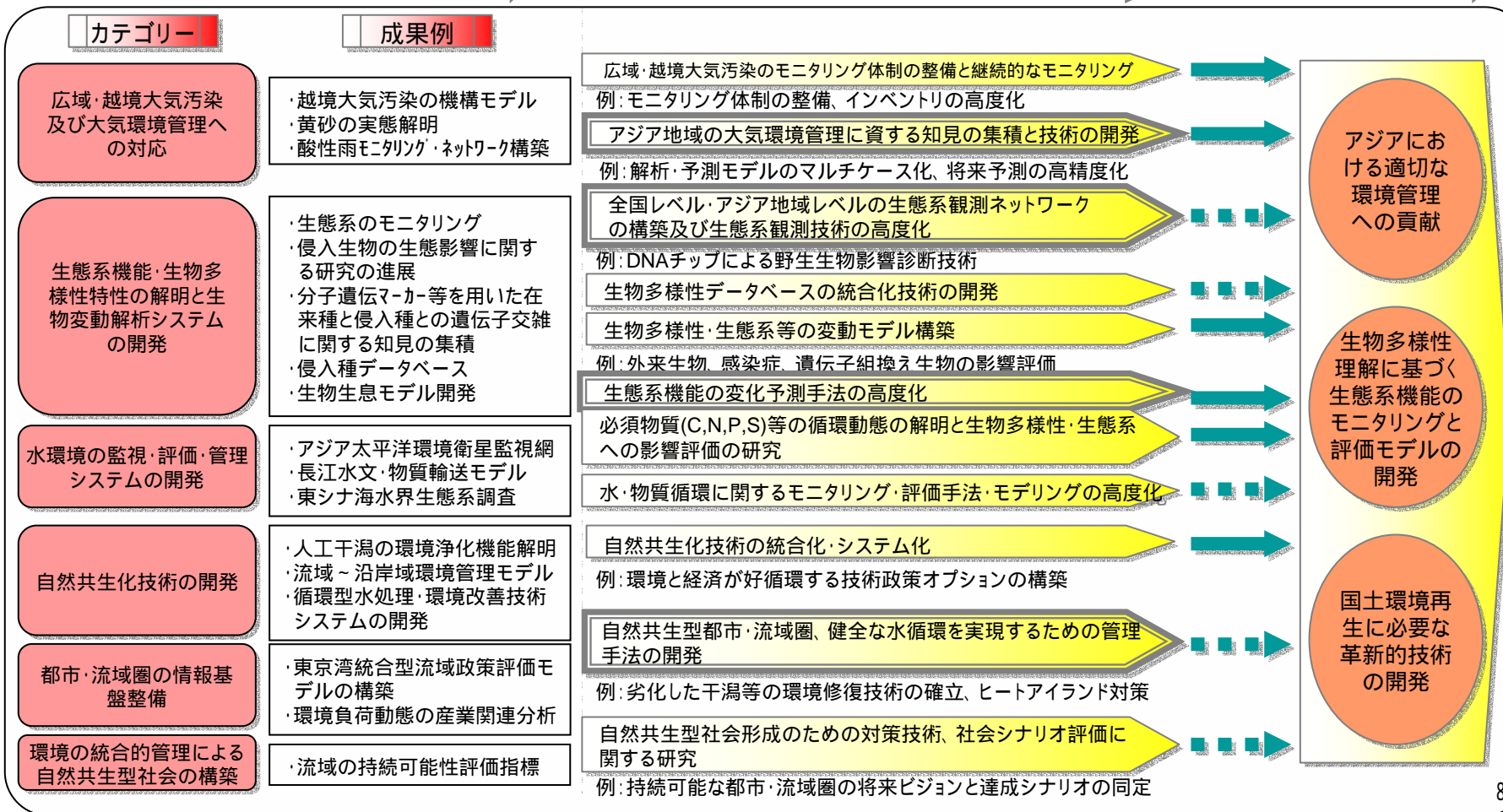
重点領域名： 自然共生型社会の構築

凡例：
重要課題
重点投資課題

政策目標



研究開発の成果/課題/目標



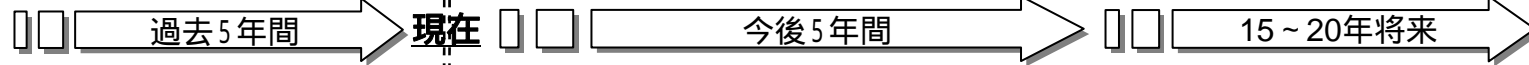
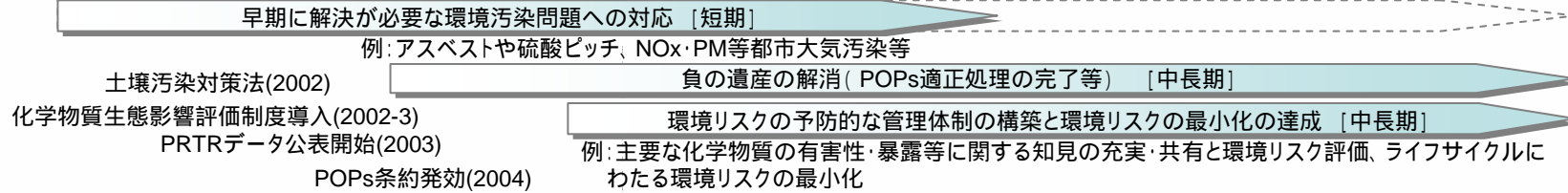
重点領域名: 安全・安心で質の高い社会の構築(環境リスクの評価・管理等)

凡例:

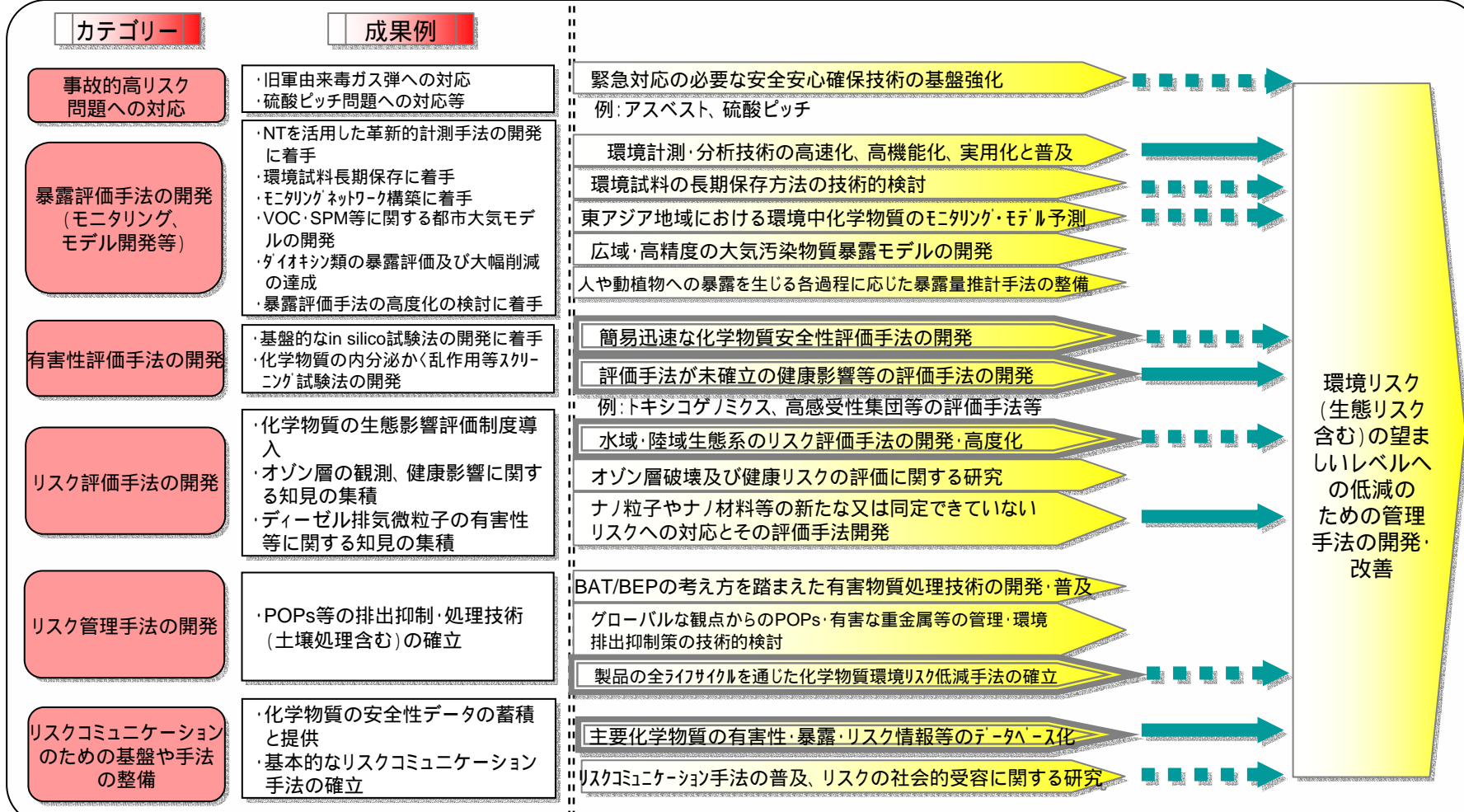
重要課題

重点投資課題

政策目標



研究開発の成果/課題/目標



戦略推進のために強化すべき方策(1)

I. 横断的かつ重点的に取り組むべき方策

- **国際的取組の戦略的展開**: 持続可能な国際社会実現のため、我が国と密接な関係にあるアジア地域を中心に取組を展開し、研究・技術開発にリーダーシップを発揮すべき。多国間の環境問題への積極的関与、共同研究・研究者交流の促進、途上国への人材育成・研究支援、環境研究の国際的ネットワークの強化等。
- **国内の地域における研究開発の推進**: 地環研を中核とした、地域社会と連携した環境研究・技術開発等の推進。地環研の体制及び機能の強化(環境技術実証機能の追加等)や、その他地域の大学、NGO、産業等との連携推進によるローカルアイデンティティーの向上等を期待。

II. 研究・技術開発推進のための制度等に関する方策

- **国の研究資金の適切な活用**: 競争的研究資金制度については、制度改革に努めつつさらに拡充。目標・目的を明確化した競争的資金枠の創設・拡充、PD・POの体制強化、ファンディングエージェンシー化の推進等。
- **知的基盤の整備・環境情報の発信・整備**: 国内外の重要環境試料の収集・保存・活用等地域研究基盤の強化。環境政策、環境研究・技術開発の基盤となる情報・データの整備。環境研究・技術開発の動向を効率的に収集・提供するシステムの構築。環境分野における知的財産の取組の強化。
- **研究開発評価の拡充強化**: 「国の研究開発評価に関する大綱的指針」の見直しを踏まえ、環境分野の研究開発に対する適切な評価手法・指針を検討。

戦略推進のために強化すべき方策(2)

II. 研究・技術開発推進のための制度等に関する方策(続き)

- **人材の育成、組織の整備**: 大環境関連学協会を活用促進による学際的な「環境研究コミュニティ」の形成。研究開発評価活動等における幅広い人材の活用。産学官連携の推進。

III. 研究成果の活用に関する方策

- **先端技術の積極的活用**: IT・NT・BT等先端技術の環境分野への積極的活用促進。ELSI研究等、先端技術のもたらしうる環境影響に関する研究の推進。

環境分野への先端技術の活用により期待される成果: 次図

- **成果の普及促進 / 普及啓発**: 有用環境技術の第三者実証による普及促進。環境研究・技術開発に関する情報の普及促進、情報交換の場の提供。戦略的広報手法及び体制の確立。
- **成果の環境政策への一層の反映**: 研究者と政策担当者の連携体制の構築。化学物質の「安心」に関する国民合意の形成等、政策そのものの研究の推進。

IV. 戦略の実施体制

- 推進戦略の実施のため、中央環境審議会による助言・フォローアップ。科学技術基本計画の枠組みを通じた強固な府省間連携、の体制を構築。

BT・IT・NT等先端技術により期待される成果

